

表11. 本格検査(検査2回目)地域別にみたB・C判定者、および悪性ないし悪性疑い者の割合

平成29年6月30日集計

		避難区域等 13市町村 注13	中通り注14	浜通り注15	会津地方注16	合計
対象者数		49,454	207,165	72,871	51,766	381,256
一次検査受診者数 ア注10		34,558	152,697	51,053	32,208	270,516
震災時平均年齢(標準偏差) 全体		8.1 (4.9)	7.7 (4.9)	7.8 (4.8)	7.4 (4.4)	-
震災時平均年齢(標準偏差) 女性		8.2 (4.9)	7.9 (4.9)	8.0 (4.8)	7.6 (4.5)	-
震災時平均年齢(標準偏差) 男性		7.9 (4.8)	7.6 (4.8)	7.7 (4.7)	7.3 (4.4)	-
検査時平均年齢(標準偏差) 全体		11.5 (5.0)	11.6 (4.9)	12.4 (4.8)	12.2 (4.5)	-
検査時平均年齢(標準偏差) 女性		11.6 (5.1)	11.7 (5.0)	12.5 (4.9)	12.3 (4.6)	-
検査時平均年齢(標準偏差) 男性		11.3 (4.9)	11.5 (4.9)	12.2 (4.8)	12.0 (4.4)	-
女性(割合)	%	50.1	49.3	49.9	49.7	49.6
B・C判定数 イ		344	1,201	423	259	2,227
B・C判定率(B・C判定数/一次検査受診者数)イ/ア	%	1.00	0.79	0.83	0.80	0.82
二次検査受診者数 ウ注11		293	967	340	188	1,788
二次検査受診率(二次検査受診者数/B・C判定数)ウ/イ	%	85.2	80.5	80.4	72.6	80.3
細胞診実施数 エ注12		38	127	31	10	206
細胞診実施率(細胞診実施数/二次検査受診者数)エ/ウ	%	13.0	13.1	9.1	5.3	11.5
細胞診実施率(細胞診実施数/一次検査受診者数)エ/ア	%	0.11	0.08	0.06	0.03	0.08
悪性ないし悪性疑い者数 オ		17	39	10	5	71
悪性ないし悪性疑い者数/細胞診実施数 オ/エ	%	44.7	30.7	32.3	50.0	34.5
悪性ないし悪性疑い者率:10万対人 オ/ア		49.2	25.5	19.6	15.5	26.2
	(%)	(0.049)	(0.026)	(0.020)	(0.016)	(0.026)

注10 重複を除く。注11 結果未確定者を除く。注12 ウのうち、穿刺吸引細胞診を実施した人数（次回検査（A1、A2）と診断された方を含む）。注13 田村市、南相馬市、伊達市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村 注14 福島市、郡山市、白河市、須賀川市、二本松市、本宮市、桑折町、国見町、大玉村、鏡石町、天栄村、西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町、棚倉町、矢祭町、塙町、鮫川村、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町 注15 いわき市、相馬市、新地町 注16 会津若松市、喜多方市、下郷町、檜枝岐村、只見町、南会津町、北塩原村、西会津町、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、湯川村、柳津町、三島町、金山町、昭和村、会津美里町

＜表11の地域別比較による結果と考察について＞

- ・一次検査受診者の震災時平均年齢は、「避難区域等13市町村」、「浜通り」、「中通り」、「会津地方」の順に高かった。
- ・一次検査受診者の検査受診時平均年齢は、「浜通り」、「会津地方」、「中通り」、「避難区域等13市町村」、の順に高かった。
- ・一次検査受診者の性別の女性の割合は、「避難区域等13市町村」、「浜通り」、「会津地方」、「中通り」の順に高かった。

年齢、性別、先行検査から本格検査（検査2回目）までの間隔、年齢階級別一次検査受診率、二次検査受診率などを考慮せず、一次検査受診者270,516人を地域別に分析した結果の比較においては、

- ・B及びC判定率は、「避難区域等13市町村」、「浜通り」、「会津地方」、「中通り」の順に高かった。
- ・悪性ないし悪性疑い者率は、「避難区域等13市町村」、「中通り」、「浜通り」、「会津地方」の順に高かった。

平成 29 年 11 月 30 日

福島県立医科大学

放射線医学県民健康管理センター

甲状腺検査【本格検査（検査 2 回目）】結果概要＜確定版＞資料

表 11 に対する検査間隔による発見率の調整例

地域別の発見数については、年齢、性別、検査間隔、年齢階級別一次検査受診率、二次検査受診率など、様々な因子が影響している可能性があるため、今後、解析方法を詳細に議論した上での評価が必要と考えられる。

一例として検査間隔をもとに期間あたり発見率の調整を行った。

先行検査は 2 年半、本格検査（検査 2 回目）は 2 年で実施しており、検査から検査までの期間は個人ごと、地域別に異なっているため、先行検査と本格検査（検査 2 回目）両方の一次検査を受診した者において、先行検査から本格検査（検査 2 回目）までの検査間隔による期間あたり発見率の調整を行った。（表中の※）

その結果、「避難区域等 13 市町村」の発見率は、53.1（10 万対）に対し 21.4（10 万人年対）に、「中通り」では 27.7 に対し 13.4 に、「浜通り」では 21.5 に対し 9.9 に、「会津地方」では 14.4 に対し 7.7 となった。

＜検査間隔による発見率の調整例＞

平成29年6月30日集計

		避難区域等 13市町村	中通り	浜通り	会津地方	合計
対象者		49,454	207,165	72,871	51,766	381,256
本格検査1回目受診者数 注1		34,558	152,697	51,053	32,208	270,516
先行検査及び本格検査1回目受診者数(両方とも受診)		32,006	140,582	46,406	27,693	246,687
検査平均年齢(標準偏差)全体		11.8 (4.8)	11.9 (4.6)	12.6 (4.5)	12.3 (4.1)	12.1 (4.6)
検査平均年齢(標準偏差)女性		11.9 (4.9)	12.0 (4.7)	12.7 (4.6)	12.5 (4.2)	12.2 (4.7)
検査平均年齢(標準偏差)男性		11.6 (4.7)	11.8 (4.6)	12.4 (4.5)	12.2 (4.0)	11.9 (4.5)
女性(割合)	%	50.3	49.5	50.0	49.6	49.7
二次検査受診者数	n	289	945	319	172	1,725
細胞診実施数	n	38	119	25	9	191
細胞診実施率(細胞診実施数/二次検査受診者数)	%	13.1	12.6	7.8	5.2	11.1
細胞診実施率(細胞診実施数/一次検査受診者数)	%	0.12	0.08	0.05	0.03	0.08
悪性ないし悪性疑い者数	n	17	39	10	4	注2 70
悪性ないし悪性疑い者数/細胞診実施数	%	44.7	32.8	40.0	44.4	36.6
悪性ないし悪性疑い者率:10万対		53.1	27.7	21.5	14.4	28.4
悪性ないし悪性疑い発見率:10万人年対 ※		21.4	13.4	9.9	7.7	13.4

注 1 資料 2-1 ②-11 頁 表 11 より抜粋

注 2 先行検査と本格検査（検査 2 回目）両方の一次検査を受診した方を対象にしているため、先行検査未受診者 1 名を除いている。